



厚別区シンボルマーク



あつべつ

2009年5月号

	4月1日現在 ()は前月比
厚別区の人口	129,148人 (-152)
男	59,765人 (-101)
女	69,383人 (-51)
世帯数	54,779世帯 (+213)

厚別区総務企画課広聴係
 〒004-8612
 厚別区厚別中央1条5丁目
 TEL 895-2400 内線224~226
 FAX 895-2403

厚別区民のページ



本棚から本棚へ 出会いの橋渡し。

厚別人

書／映画監督 菅原浩志

広がる活動

当初は、子どもの通う児童会館の蔵書を充実させようと、本好きの仲間と声を掛けて始めた活動でした。HBSの活動が学校図書などの充実につながることを考えた札幌市教育委員会と事業提携し、平成二十年九月

北海道ブックシェアリング(HBS)は、家庭などで不要になった本を引き取り、クリーニングや補修をした後、公共性のある施設や団体に無償で提供する活動を行っています。「寄贈された中には故人が大切にしていた本もあり、捨てられずに再利用されるのは、本好きの一人としてうれしい」と語るHBS代表の荒井さん。

センターの活用を

に厚別区内の信濃中学校に開設された「図書再活用ネットワークセンター」の運営もしています。

センターの本棚には、約八千冊の本がボランティアの手により整理されており、月二、三回の図書提供日に施設の担当者が直接選べるようになっていきます。平成二十一年三月末までに約六万冊が寄贈され、約六千冊を提供してきました。幼いころに読書で楽しい時間を過ごしたという荒井さん。「提供先から、本が増えた図書コーナーを喜んでいて聞くと、活動が実感できてうれしいですね」と話します。

本とまちづくり

今後について、「札幌の本のまちとして根付かせられるよう、仕掛けをしていきたい」と目を輝かせます。荒井さんの活動により、本を活用したまちづくりが着実に広がっていきます。

北海道ブックシェアリング代表
荒井 宏明

Profile (プロフィール)

あらい・ひろあき
 平成20年1月、小規模公共施設に図書を無償提供する目的で北海道ブックシェアリングを設立。3児の父。厚別区在住。45歳。